

研究課題名	大脳基底核、脳幹に存在する神経膠腫に対する治療結果についての研究
研究の意義・目的	大脳基底核あるいは脳幹に存在する神経膠腫に対する治療法として従来は生検と術後の放射線化学療法を施行することが一般的でした。しかしながら近年積極的な腫瘍摘出が有用であるとの報告も散見されますが、まだまだ報告の数としては多くはありません。当院でも生検術を中心に積極的な腫瘍摘出も治療法の一つとして選択してきました。本研究では、大脳基底核あるいは脳幹に存在する神経膠腫に対して当院で治療された方の腫瘍摘出率、術前・術後の症状、高次脳機能変化について検討し、今後の最適な治療方法を検討していきます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2011年4月～2020年3月に大阪市立大学医学部附属病院の脳神経外科で、大脳基底核、脳幹に存在する神経膠腫に対して手術加療をされた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、神経学的所見、CT画像、MRI画像、高次脳機能検査の結果、手術画像】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院脳神経外科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 研究責任者 中条 公輔
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 (担当者氏名) 中条 公輔 メールアドレス：neurosurgery@med.osaka-cu.ac.jp